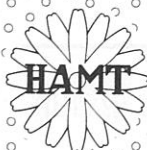


第361号



# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

## 編集委員

小松敏也 / 小原 望 / 山崎美佳 / 橘 匡廣  
井垣 歩 / 矢野美由紀 / 新田篤史 / 鳥居良貴

## 臨床検査情報センター

URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の区報

- 第14回丹但地区学術組織合同研修会 開催される ..... 1
- 《各部局報告》リーダー育成研修会 検査セミナー開催される ..... 2~3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《会員グルメ情報》・「遺伝子検査基礎研修会」 ..... 6~7

## 第14回丹但地区学術組織合同研修会 開催される 12月8日

### —研修会で学んだこと—

久保 侑也会員 (公立豊岡病院)



井上先生

第14回丹但地区学術組織合同研修会に参加させていただき非常に多くのことを学ぶことができました。

はじめに認知症と臨床検査技師の役割についての講義がありました。神経心理学的検査であるMMSE<sup>1)</sup>、HDS-R<sup>2)</sup>などの説明や実際にその検査の流れを体験することができました。



中島先生

今後、増え続ける認知症の早期発見をするという意味でも、臨床検査技師が専門性を活かして検査することの重要性を理解しました。

次に尿沈渣の講義が2題と髄液検査、関節液検査の講義が各1題ずつありました。症例に加え、解剖学的構造の説明、生化学や血液学的検査所見もあり、大変わかりやすく勉強になりました。



正宗先生

関節液検査では結晶沈着症や細菌性による化膿性関節炎の症例呈示があり、それぞれの検査所見、検査方法などを学ぶことができました。

この研修会で得たことを日常の業務に活かし、精度の高い検査ができるよう努力していきたいです。

1) Mini Mental State Examination 精神状態短時間検査

2) Hasegawa dementia rating scale-revised 長谷川式簡易知能評価スケール決定版



久恵先生

田村 美歩会員 (公立八鹿病院)

身近でありながら専門的なお話を聞く機会が少ない認知症について、認定認知症検査技師の立場から非常に分かりやすく講義していただきました。「認知症と臨床検査技師の役割」ということで、認知症の基礎・病態から実際に行われている検査、臨床検査技師としての携わり方など幅広く知ることができ、貴重な経験となりました。

後半は尿沈渣、髄液、および関節液について、実際の症例を交えた講義をしていただきました。私のように時間外業務でのみこれらの検体を扱う者にとっても非常に分かりやすく説明いただき、有意義な時間を過ごすことができました。また、自施設では普段なかなか経験することができないような症例も豊富に紹介いただき、貴重な経験となりました。

但馬地域で開催される研修会は数少ないですが、今後も積極的に参加し、業務に活かしていきたいと思っております。ありがとうございました。



大沼先生



## 各局報告

### 組 織

#### 2019年度兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会開催される (12月15日)



2019年12月15日に 兵庫県臨床検査技師会研修センターにて「リーダー育成研修会」が開催されました。少子高齢化により日本社会は大きな転換期を迎えており、この変革に対応できる人材の育成が求められています。日臨技の横地副会長による講演「次世代リーダーに求める資質」の内容を元に、「これからの臨床検査を考える」をテーマとして、ブレインストーミングとKJ法による組織目標達成に向けた事業展開の考え方、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決、計画立案などの手法を習得しました。今回は13名の参加でしたが、次代の臨床検査を担う学生さん(3名)も参加され、新しい未来を共に考えるととても良い機会となりました。

(文責：広報部)

#### 2019年度兵庫県臨床検査技師会リーダー育成研修会に参加して



沖 都麦会員 (神戸大学医学部附属病院)

昨今「働き方改革」や「ハラスメント」が話題となり、働き手としての技師を守る必要がある一方で、臨床からのニーズに応える責務、安全で間違いのない検査を提供するための弛まぬ努力が求められ、どのようにバランスをとって検査室を運営すればよいのかという悩みがあり、少しでも解決の糸口を見いだせたらと思い、参加をいたしました。

午前の講義では、技師が置かれている現状や医療情勢、管理者として求められる資質について学び、午後からのグループワークでは、検査センター、市民病院、大学病院と特徴の異なる施設に所属するメンバーで、今抱えている問題、臨床検査技師としてこれから何ができるかについてディスカッションを行いました。

「臨床検査技師の将来」や「医療情勢」、「管理者に求められる要素」について学び考える機会は貴重で、今までにはない考え方を得、また他施設の方々と語り合えたことは、大きな収穫となりました。

加藤 正輝会員 (宝塚市立病院)

本日は終日リーダー育成研修会に参加させて頂きました。午前は講義があり、臨床検査技師のリーダー像とは何だろうと考えながら拝聴しました。自分なりにまとめると、「中長期的視野で病院全体又は患者の利益になる明確なビジョンを持ち、それに向け今すべきことを考え実行する」ことかとイメージしました。続いて、技師会の事業活動についての講義があり、その中で政治力も必要であるということでしたが、臨床検査技師は苦手そうと、勝手なイメージごめんさい。

グループに分かれ、昼食を摂りながらのランチョンミーティング。学生も参加し、新鮮な意見を聞くことができました。質問が学生さんに集中し弁当に手がつけられない状態に、真面目さが伝わってきました。

午後からはグループワーク。様々な立場のメンバーで、それぞれの悩みや考え方、違う視点からの意見を聞いて、そういう考え方もあるのかと気付かされ、大変参考になりました。発表では、自分の声が緊張していることに気づき、後輩には、ゆっくりしゃべること、周りを見ることと言っているにも関わらず、早口でホワイトボードしか見ていないことに反省しました。

プログラムにあった「研修会の振り返り(各自1分)」が行われないうちに研修会は終了し、このドキドキはどうしてくれるのと思ったり、安心したり。自分の未熟さに気付かされる研修会でしたが、早速、自施設のあるべき姿を思い描いてみようと思います。

最後になりましたが、スタッフの皆様、有り難うございました。

# 2019年度 検査セミナー開催される

12月21日

2019年12月21日兵庫県私学会館4階大ホールにて、兵庫県臨床検査技師会と兵庫県がん診療連携協議会の共催でがん診療に従事する医療関係者を対象とした『検査セミナー』が開催されました。今年度は「遺伝子で分類するがん」をテーマに講演がありました。

講演1. 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害について

演者：廣田 勇士 先生

(神戸大学医学部附属病院 糖尿病内分泌内科)

演題2. がんゲノム医療最前線 ―当院での取り組みの実際―

演者：松本 光史 先生

(兵庫県立がんセンター 腫瘍内科部長)

廣田先生からはPD-1抗体の作用機序の解説に始まり“ニボルマブ”による免疫逃避の解除・がん細胞死が説明され、同時にirAE (immune-related Adverse Events：免疫関連副作用)の種類・発生状況が示されました。irAEの中でも ACTH (副腎皮質刺激ホルモン)低下による副腎クリーゼ発症(急激な血圧低下)の危険性、頻度は低いとは言え1型糖尿病による急激な血糖の上昇は生命予後に影響することが紹介され、臨床検査として血中コルチゾール、血中ケトン体の測定が重要であり院内実施による迅速化が要求されました。

まとめとして、1.免疫チェックポイント阻害薬による内分泌障害は診断が遅れると重篤な転帰を辿ることがあること 2.治療に際しては内分泌障害の発症を常に想定して早期に診断することが重要であること 3.がん診療医と内分泌・糖尿専門医の連携とともに、臨床検査部の関わりも重要であることが述べられました。

松本先生からは次世代シーケンサー (NGS：Next-Generation Sequencing)を用いた腫瘍細胞由来遺伝子解析による個別化医療が進むものの、ゲノム医療の対象患者は10～20%であり、治療が特定の医療機関に限定される上に、期間が2ヶ月にもおよぶ現状が報告されました。同時にがん遺伝子パネル検査の保険の適応の可否、自院での現状も解説されました。がん遺伝子パネル検査の説明では、1.がん遺伝子パネル検査とは 2.検査の流れ 3.検査の種類・特性・費用 4.採取検体量の不足や不良により検査が不成功となる可能性があること 5.検体不足により再生検となる場合があることなどを十分把握した上で患者説明するには、臨床検査技師が適任であることが述べられました。加えてがん遺伝子パネル検査で見つかる遺伝子変異には、体細胞系列と生殖細胞系列が有り、特に生殖細胞系列での変異は次世代にも伝わることから重要であり、且つ慎重に取り扱う必要性が求められました。

がんゲノム医療で臨床検査技師に求められることとして、①技術スキル：検体管理に関する知識・高度な病理技術、遺伝子検査に関する知識・技術、②新たなスキルとして：遺伝学・治療・治験に関する知識 検査説明や他職種連携のためのコミュニケーション能力が提示され“がんゲノム医療コーディネーター”として活躍が期待されました。

臨床検査技師以外にも医師・看護師・薬剤師を含む100名を越す参加者で活発な質疑応答も行われ、がんゲノム医療への注目度の高さと臨床検査技師参画の重要性を知ることが出来ました。

(文責：広報部)



がん診療連携協議会議長  
吉村 雅裕 先生



廣田 勇士 先生



松本 光史 先生



兵臨技 真田会長



# 会員グルメ情報

## 数珠つなぎ

[36]

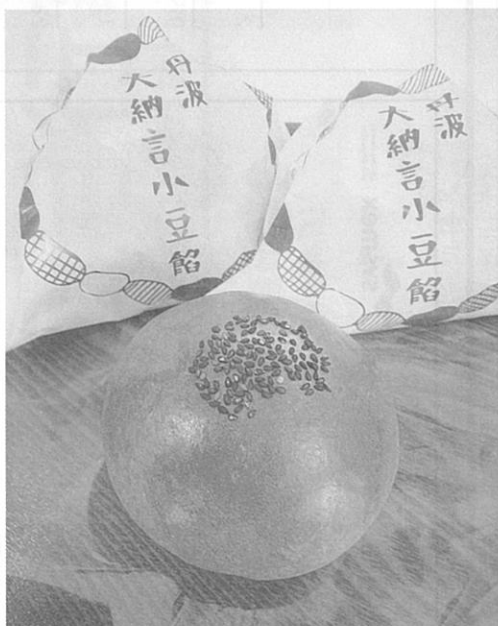
高柳 光佑会員 (丹波医療センター)



(店の外観)



(丹波大納言小豆餡食パン)



(丹波大納言小豆あんぱん)

今回紹介するお店は、兵庫県丹波市柏原駅近くのお店「パンの蔵 穂音-honon-」です。

兵庫県立丹波医療センターから車で5分程度の場所があり、高校生やサラリーマン、近所の方から人気のあるお店です。検査室でも穂音のファンは多く新作や季節限定商品などを楽しみにしている人もたくさんいます。

穂音のパンのおすすめは、丹波大納言小豆を使用した「あん食パン」や「あんぱん」です。あんの小豆は、近くの和菓子屋さんでパン専用に炊いていただいているそうです。あん食パンはあんが甘すぎずさっぱりしていて、食パンとのバランスも良く、朝からでもペロリといけます。あんぱんは生地がもちりしていて、あんもたっぷり入っているので食べごたえがあり、あん好きな方や若い方にもオススメです。地元丹波産の卵や牛乳で作った自家製カスタードクリームが入ったクリームパンも絶品です。他にも、定番のメロンパンやクロワッサン、お惣菜パン、季節限定パンなど約40種類のパンが並んでいます。夕方だと売り切れている場合があるため予約や取り置きすることをオススメします！

最近、ピザもメニューに加わり、じゃがマヨベーコンやアボカド&チキンのバジルソースなど子供から大人まで楽しめるメニューになっています。私は、まだ食べたことがないですが、今度食べてみたいと思っています。ピザは前日までに予約注文のため要注意です！！

丹波に来られた際は、是非「パンの蔵 穂音-honon-」のパンをご賞味ください。

### <店舗情報>

店 名：パンの蔵 穂音-honon-

住 所：丹波市柏原町柏原46番地

電話番号：(0795) 78-9460

営業時間：10：00～19：00

定休日：毎週日曜日、月2回月曜日、不定休有り

2019年度 兵庫県臨床検査技師会主催  
**「遺伝子検査基礎研修会」**  
**～今さら聞けない遺伝子検査の基礎～**

少子高齢社会の急速な進展や経済基調の低迷を背景に医療財政の危機が叫ばれる一方で、遺伝子解析・治療や臓器移植などの飛躍的な医学・医療の進歩により国民の医療に対するニーズは、これまでの疾患中心の画一的な医療から、患者中心のオーダーメイド医療へと大きく変化しています。特に遺伝子に関する進歩はめざましく、臨床検査分野においても避けて通ることができなくなっています。

また、一昨年医療法の一部が改正され、医療機関における検体検査の精度確保が求められるなかで、遺伝子関連・染色体検査の精度確保に係る責任者を配置することについても明記されており、専門的な知識を持った臨床検査技師が必要になっています。

このような状況を踏まえ、この度当会では遺伝子研究班と共に遺伝子検査の基礎を学べる研修会を企画させていただきました。

記

開催日時：2020年2月29日(土) 14:00～17:20(13:30より受付開始)

場 所：神戸常盤大学 2号館4階 2401教室

住 所：〒653-0838 兵庫県神戸市長田区大谷町2-6-2

内 容：遺伝子検査基礎研修会(各10分間の休憩をはさみます)

14:00～15:00 第1部 今さら聞けない遺伝子検査の基礎知識

松元 英理子 先生(神戸常盤大学保健科学部)

15:10～16:10 第2部 造血器腫瘍遺伝子検査の基礎と考え方

水田 駿平 先生(兵庫県立尼崎総合医療センター)

16:20～17:20 第3部 病理検体を用いた遺伝子検査の基礎

佐々木 伸也 先生(堺市立総合医療センター)

申込方法：事前申し込み制ではありませんので当日直接お越しください

研修会受講料：500円(当日、受付にて支払い)

点 数：基礎20点

【問合せ先】 兵庫県臨床検査技師会 担当 藤原美樹

社会医療法人三栄会 ツカザキ病院 直通PHS 070-5436-7266

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●三菱神戸病院

交 通：地下鉄海岸線「和田岬」または  
JR「和田岬」下車徒歩5分

採用条件：非常勤嘱託職員 週5日 産休代替  
(8:40～15:00ぐらいの勤務でも可能)

業務内容：検体検査、心電図

問合せ先：078-671-7705  
(事務課 管理T 小田)

## ● 第9回西播地区研修会

日時：2020年2月9日(日) 10:00～12:30

場所：姫路赤十字病院 大会議室

内容：RCPC (Reversed Clinico-Pathological Conference) in 西播

問題提供者・コメンテーター・アドバイザー

牛尾 俊介 先生 (姫路赤十字病院)

藤田 宜子 先生 ((株)兵庫臨床検査研究所)

中町 裕司 先生 (神戸大学医学部附属病院 バイオリソースセンター)

回答者

四ッ谷 拓歩 先生 (兵庫県立姫路循環器病センター)

岩佐 恵梨花 先生 (姫路中央病院)

陰山 友希 先生 (姫路市医師会)

## ● 第29回東播地区研究発表会

日時：2020年2月22日(土) 13:00～16:30

場所：加古川中央市民病院 光(きらり)ホール

内容：○教育講演 「タスクシフティングに関する取組み(仮)」

中務 雄介 先生 (三田市民病院)

○学術講演 「ALP・LDのIFCC対応に向けての検討(仮)」

和田 哲 先生 (和歌山県立医科大学附属病院)

○一般演題5演題程度

※詳しくは兵臨技ホームページ“WEB行事予定表”をご覧ください



## 「お客様の声」をカタチに。



全自動免疫測定装置  
**HISCL-5000**  
体外診断用医薬品製造販売承認番号:22022X10007000117

- 全項目17分の反応系で最大200テスト/時の迅速測定
- 化学発光基質CDP-Star™による高感度測定系
- 10～30μL/テストの微量検体
- 連続測定可能なコンティニューアスローディングシステム
- 検体搬送ライン接続対応

### HISCL対応項目ラインアップ (2019年10月現在)

感染症	HBsAg, HBsAb <sup>®</sup> , HCVAb, TPAb <sup>®</sup> , HTLV-I Ab, HBsAg <sup>®</sup> , HBsAb <sup>®</sup> , HBeAb <sup>®</sup> , HIVAg+Ab, HCVGr
甲状腺	TSH, FT4, FT3
腫瘍マーカー	AFP <sup>®</sup> , CEA <sup>®</sup> , PSA <sup>®</sup> , CA19-9 <sup>®</sup> , CA125 <sup>®</sup> , CA15-3 <sup>®</sup> , ProGRP, PIVKA-II <sup>®</sup>
凝固因子マーカー	TAT <sup>®</sup> , PIC <sup>®</sup> , TM <sup>®</sup> , tPAI-C <sup>®</sup>
内分泌	インスリン, HCG
心臓マーカー	NT-proBNP, トロポニンT
その他	フェリチン <sup>®</sup> , KL6 <sup>®</sup> , SP-A, TARC <sup>®</sup> , ANP <sup>®</sup> , M2BPGI, PGI <sup>®</sup> , アルブミン

※1:製造販売元 株式会社日本薬機株式会社 ※2:製造販売元 株式会社カイノス  
※3:製造販売元 株式会社アールエス株式会社 ※4:製造販売元 協和ケイアール株式会社  
※5:製造販売元 東亜製薬株式会社

### Mac-2結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体キット **HISCL M2BPGI試薬**

体外診断用医薬品製造販売承認番号:22500AMX01930000

- 肝臓の線維化進展の程度を  
反応時間17分の迅速測定で確認できます。

### Th2ケモカイン・TARCキット

### **HISCL TARC試薬\***

体外診断用医薬品製造販売承認番号:225AAAMX00132000

- アトピー性皮膚炎の重症度マーカーとして  
TARC検査が有効です。高感度かつワイド  
レンジな試薬で反応時間17分の迅速測定を  
実現します。

### 心房性ナトリウム利尿ペプチドキット

### **HISCL ANP試薬\***

体外診断用医薬品製造販売承認番号:225AAAMX00145000

- 主として心房で合成・貯蔵され血中に分泌  
されるホルモンで各種心臓疾患、および  
腎不全患者における透析実施時の指標体重  
(dry weight)の指標となります。

\* 製造販売元 シンエイ製薬株式会社

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

製造販売元

シスメックス株式会社 本社 神戸市中央区臨浜海岸通1-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300 広島 082-248-9070 福岡 092-411-4314  
営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707  
金沢 076-221-9963 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 横浜 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788  
日製薬7階総務部 03-5434-8565



www.sysmex.co.jp